

## <報道発表資料>

---

令和6年6月24日

### 「デーノタメ遺跡」の国史跡への指定および「ごぼうやま午王山遺跡」の範囲の追加指定について

国の文化審議会（会長：しまたに ひろゆき島谷 弘幸）は、令和6年6月24日（月曜日）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、北本市に所在する「デーノタメ遺跡」を史跡に指定するよう文部科学大臣に答申されました。また、すでに史跡指定になっている和光市に所在する「ごぼうやま午王山遺跡」の範囲の追加指定もあわせて答申されました。

答申された文化財は後日行われる官報告示を経て指定されます。これにより、国指定史跡の総数は1,905件になり、県内の国指定史跡は26件になります。

北本市での国指定史跡は初となります。

## 1. 新たに指定される史跡

### ○デーノタメ遺跡

- ・ 所在の場所 北本市大字しもいしとしも下石戸下字くぼこうち久保耕地643番1ほか
- ・ 指定面積 49,034.13㎡
- ・ 特徴・評価〔提供用写真別紙〕

デーノタメ遺跡は、縄文時代中期後葉から後期前葉に営まれた関東最大級の環状集落遺跡である。かんじょう環状集落遺跡である。みずば水場遺構を伴い、当時のうるせいひん漆製品や植物資源の利用実態を知る手掛かりとなる遺物が豊富に出土した。縄文時代中期から後期にかけての環境変化とそれに適応した人々の活動痕跡を知る上で重要な遺跡である。

## 2. 追加指定となる史跡

### ○<sup>ごぼうやま</sup>午王山遺跡

- ・ 所在の場所 和光市<sup>にいくら</sup>新倉3丁目2829番5ほか
- ・ 指定面積 18,601.53㎡
- ・ 特徴・評価〔提供用写真別紙〕

午王山遺跡は、武蔵野台地の北東端部の独立丘上に位置する弥生時代の<sup>かんごう</sup>環濠集落である。東日本では例が極めて少ない多重環濠を有し、住居跡と出土遺物の多様性から広域の地域間交流の実態を示す重要な遺跡であるとして令和2年3月に史跡に指定された。今回は条件が整った部分が追加指定となる。

## 3. お問い合わせ先

### (1) デーノタメ遺跡の新規指定に関すること

北本市教育委員会文化財保護課 文化財保護担当  
電話049-594-5566（直通）

### (2) 午王山遺跡の史跡範囲の追加指定に関すること

和光市教育委員会生涯学習課 文化財保護担当  
電話048-424-9119（直通）